



# 迎春



新年あけましておめでとうございます。  
市民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと  
議会を代表し、心からお慶びを申し上げます。

議長 小松紀夫

## 改革によって前進する

新しい年を迎え、平成も、はや30年、来年には新たな年号となります。遠くなった『昭和』を懐かしみながら、心新たに活力のある議会活動に向けて、決意を強くしたところでございます。

時の流れは、容赦なく私たちの生活環境に大きな変化をもたらしました。少子高齢化、過疎化、人口減少、IT社会、格差社会、社会保障、安全保障等々、数え上げればきりがありません。また、その流れはとても早く、対応は後手に回ってしまいます。

私たち香美市議会は、時の流れに対応していくため改革を進めてまいりました。本会議のインターネット中継、議会報告会の開催、一問一答方式の導入など、

さらに、議会基本条例も制定しました。

昨年、市長の付属機関である審議会等から議員を引き上げると同時に、市民の市政参画を推進するための特別委員会を設置しました。また、予算、決算の審査方法を大幅に変更しました。

このように改革を続けていくことによって、議会が前進し、市民の信頼を得ることができると信じています。立ち止まることは後退すること、それは個人でも組織でも同じと考えます。

今年、市長選挙と議員選挙が行われます。若者の政治離れが叫ばれる中、市政に関心を持ってもらうにはどう

### 議会とは

すれば良いのか、私たちに問われているように感じます。

さて、国は議院内閣制ですが、地方は二元代表制がとられています。二元代表制の一方の代表は、選挙で選ばれた市長であり、もう一方は、同じく選挙で選ばれた議員で構成する議会です。少し誤解があり、もう一方の代表は議員と考えている方がいますが、意思決定は合議体である議会によって行われますから、議員でも議長でもなく、あくまで議会なのです。

市民の負託に応えるために、一方の代表である議会が、先にも述べたように、改革し前進していくためには、議会を構成する議員のレベルアップが不可欠です。そこで、政務活動費を導入し、調査研究や研修会への参加、講師を招いての講演会等を実施しています。

市民の負託に応えるために、一方の代表である議会が、先にも述べたように、改革し前進していくためには、議会を構成する議員のレベルアップが不可欠です。そこで、政務活動費を導入し、調査研究や研修会への参加、講師を招いての講演会等を実施しています。

議会は、議会本来の役割をしっかりと果たさなければならぬと考えます。

### オール香美市で・

私たちの暮らす香美市には、多種多様な課題があります。

これらの課題を市長や議会だけで解決することは不可能です。課題解決には、オール香美市の体制が必要です。

先に述べましたように現在、議会に『「協働」・「参画」調査研究特別委員会』を設置し、オール香美市を実現するための仕組み作りを行っています。私たちの知恵を結集して課題の解決を目指してまいりますので、今後とも一層のご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

